

成人編 その3 国民健康保険

連載
目でみる都留市の健康

今月は市民の約5割が加入している国民健康保険の62年5月分の統計が出されましたので、この統計から本市の病気の傾向をさぐってみます。

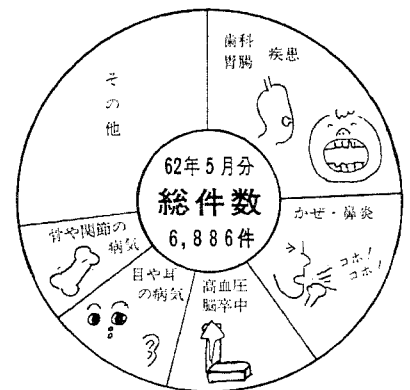
さて本市ではどんな病気で病院へかかっているか見てみましょう。図(一)のとおり歯科疾患・胃腸病・かぜ・鼻炎・高血圧・脳卒中・目や耳の疾患・骨や関節の疾患の順に多いようです。

それでは次に、どの病気に多くの費用を支払っているかと言いますと、図(二)のとおり

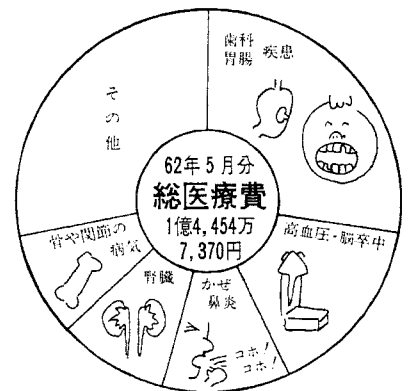
で、多くかかっている病気とほぼ同じです。しかし、ここでちょっと注目する点は図(三)に示すように、一件当りの費用が高い病気は、がん・腎不全・先天性の病気等、という結果が出ている事です。

次に病院にかかった人の割合を年齢別にみたところ図(四)のようにになりました。10歳代から40歳代はあまり受診していませんが、70歳以上では90%が、60歳代では70%の人が何かの病気で受診しています。又、多く受診するもう一つの山は0歳から9歳の乳幼児

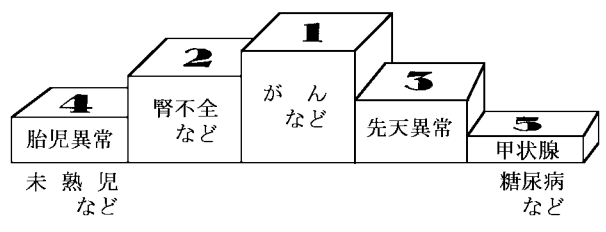
5月にかかった病気の割合 図(一)



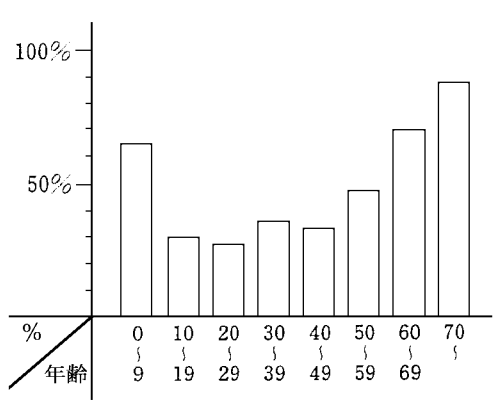
5月に支払った医療費の割合 図(二)



1件当りの費用が高い病気ベスト5 図(三)



年齢別受診率 図(四)



受診率の高い年代の病気(上位5位まで) 表(一)

順位	1位	2位	3位	4位	5位
0～9歳	かぜ 鼻炎	伝染病 (水ぼうそうなど)	歯科 胃腸病	皮膚病	目や耳 の病気
60～69歳	高血圧 脳卒中	歯科 胃腸病	目や耳 の病気	骨や関節 の病気	かぜ 鼻炎
70歳～	歯科 胃腸病	骨や関節 の病気 高血圧・脳卒中	目や耳 の病気	かぜ 鼻炎	かぜ 鼻炎